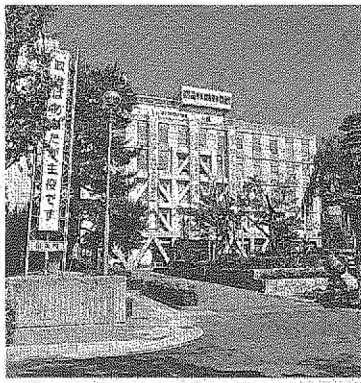


県内自治体、対応に遅れ

国が7月の実施を要請している地方公務員の給与減額を巡り、長野県内の自治体が対応に苦慮している。県内19市のうち現時点で減額の方針を示すのは駒ヶ根市など一部のみ。ほとんどは検討中の段階だが、松本市は7月からの実施を断念した。給与減額を前提に地方交付税を削減するという国の方針への反発は強いが、「他の自治体があるならやらざるを得ない」(須坂市)といった声も聞かれる。



地方公務員の給与減額

13市が方針未定 松本は来月断念

駒ヶ根市は7月からの例案と補正予算案を出し、給与削減を決めた。市議会の6月定例会に関連条

給与減額に対する
県内自治体の対応は割れている

減額で妥結	駒ヶ根市
減額方針	県、上田市、伊那市、東御市
6月議会提 案を見送り	松本市、安曇野市
未定	長野市、飯田市、佐久市、塩谷市、 尻市、千曲市、茅野市、岡谷市、 須坂市、須坂市、諏訪市、中野市、 小諸市、大町市、飯山市

松本市は7月からの給与減額を見送った

が9・77%、課長などが7・77%で、合計で8700万円の人件費を減らす。

「1億円近く交付税を削られたため、削減しないとどうにもならない」とは職員組合も理解してくれたい(総務課)という。国家公務員を100とした場合の給与水準を示すラスパイルズ指数は105・8から98・4に下がる。

同指数が県内の市で最も高い上田市も「(ラス

パイルズ指数)100を目指す」(人材開発課)方向で組合への提案を検討中だ。

一方、松本市のように7月からの減額を早々に断念した自治体もある。菅谷昭市長は「協議期間を考えると6月議会には間に合わない」と表明した。

自治体の動向を見ているが、6月議会への提出は難しい(人事課)と7月からの減額を見送る方針だ。

松本市がまったく給与を減額しない場合、来年3月までに4億円強の財源が必要になる。「交付税の総額が現段階ではわからないので、財政への影響は不透明(職員課)市」とする声もあった。

13市が方針未定で「他の様子を見ている(千曲市)という段階だ」(5日に開く)全国市長会議の動向を見たい(飯田)と揺れる自治体も多い。

国の要請への反発は強い。新規採用を絞り、ここ8年程度で2割近く職員数を減らした小諸市は「仕事量が増えているのに、給与もカットされればやる気が下がってしまう」(総務課)と憤る。

一方、「削減しないとなれば市民に対して説明責任がある」(飯山市)と揺れる自治体も多い。

自治体 県と労組の交渉注視

長野県が労働組合側に對し7月からの給与削減を求めていることについて、労組側は交渉入りを

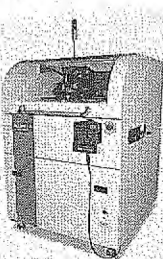
承諾し、5日に初めての交渉を実施する。県

は労組に対し、一般行政職員で平均6・4%の減額を提案。県職員全

体では約65億円の削減になるといふ。県内では県の動向を注視している(中野市)という声も多

プリント基板に自動で取り付け

産業機械のアルファードザイン(東御市)は、コネクター部品などをプリント



アルファードザインが開発

従来機より大幅に安くなる見込み。導入コストを抑え、国内のほか人件費の上昇で自動化が進む中国でも拡販する。

異形部品は抵抗などの部品と比べ形がさまざま、自動で取りつけるのが難しかった。新機種は同時に8つの部品までセットすることが可能。大型の部品にも対応し、自動車や照明関連、アミューズメントなど幅広い業界へ売り込む。

データセンター容量倍増

電算、BCP需要に対応

受注に弾みをつける。自社での営業のほか、業務提携による拡張も狙う。自治体からの引き合いも増えているという。

コネクター部品など

基板に自動で取りつける機械を開発した。コネクター部品は形が複雑で「異形部品」と呼ばれ、取りつけ作業は手で行うのが中心だった。国内外で初年度60台の

「ボードペッカーAMI」を異形部品の取り付けに絞ることで、複数の機能を持つ。約1500万円の